

DENON
PROFESSIONAL

DN-300DH

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しなしてください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しなしてください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源ブラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] denonpro.jp

[サポート] denonpro.jp/support/

ユーザーガイド

はじめに

DN-300DH をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。Denon Professional では、信頼性とパフォーマンスについてお客様が思う様にとても重要だと考えております。私たちはお客様のパフォーマンスを最大限発揮できる機器を提供するという信念の元、製品のデザインしております。

同梱物

DN-300DH

ラック耳×2

ラックマウントネジ×6

FM アンテナ

AM ループアンテナ

DAB+ アンテナ

RCA ケーブル

リモートコントローラー

電源ケーブル

ユーザーガイド/保証書

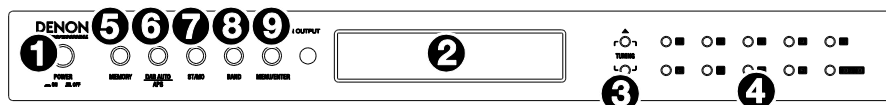
サポート

本製品の最新情報（システム要件や互換情報など）は、DENON Professional の Web サイト **denonpro.jp** をご確認ください。

また、修理や使用方法などのお問い合わせは、カスタマーサポート **denonpro.jp/support/** にご連絡ください。

機能

フロントパネル



1. **POWER** ボタン：本体の電源のオン・オフを切り替えます。
2. **ディスプレイ**：現在の操作など情報を表示します。
3. **TUNING ▲/▼** ボタン：受信周波数を調整します。またボタンを1 秒以上押し続けると、クリアに受信可能な次の局を探してジャンプします。
4. **ナンバーボタン (1~10/10+)**：プリセットとして保存してある曲を呼び出すことができます。10より大きなプリセット番号は、例えば、プリセット12を呼び出したい場合は、10/10+ボタンを押してから、続けて2を押すことで呼び出し可能です。プリセット20 の場合は、10/10+ボタンを二度押します。
5. **MEMORY** ボタン：現在選択されている局をプリセットとして保存するには、このボタンを押してからナンバーボタン (1~10/10+) で保存したいプリセット番号を押し、もう一度このMEMORY ボタンを押します。
6. **DAB Auto/APS** ボタンDABまたは、FMモード時にDAB Auto/APSボタンを押すと受信可能なステーションを自動検索します。
： DAB+は、EU・UK・中東・アジア・オセアニアでのみ有効です。
7. **ST/MO** ボタン：FMモードのみでこのボタンを押して、ステレオかまたはモノラルかを切り替えます。
STEREO：FM ステレオ放送はステレオで受信され、ディスプレイにSTと表示されます。
MONO：FM 局の受信状態がよくない場合にこのボタンを押すことで、不要なノイズを減衰させてモノラルで受信できる場合があります。
8. **BAND** ボタン：DABとFM とAM を切り替えます。
9. **Menu/Enter**：セッティング画面に移動、選択メニューの決定ができます。長押しすることで、メニューへ戻ることができます。

リアパネル

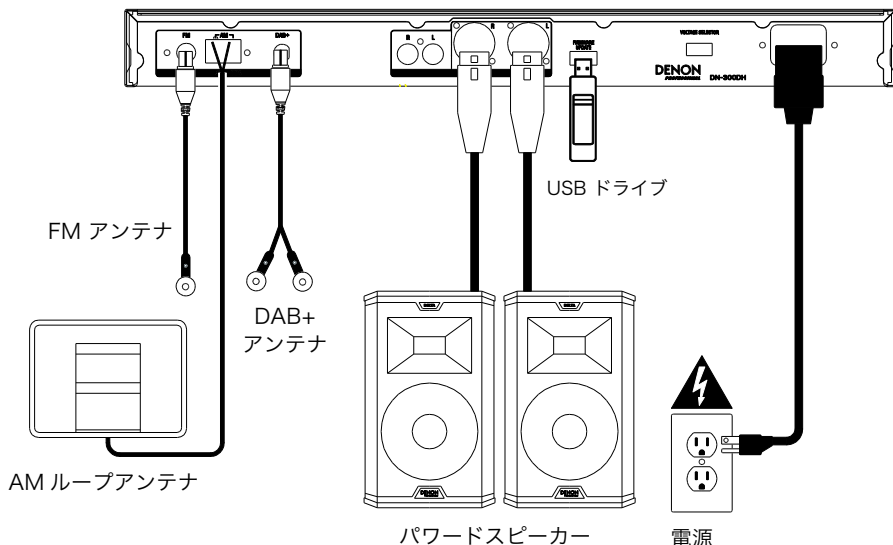


1. **AC In**: 付属の電源ケーブルを接続して、電源を供給します。
2. **Voltage Selector**: 電源電圧の異なる国で使用する場合は、このセクターで適切な電圧を選択します。間違った選択をした場合、ユニットが故障する可能性もございますのでご注意ください。また、設定を変更するには、カバーのネジを外してセクターをスライドさせます。
3. **FM アンテナ端子**: 付属の FM アンテナをここに接続します。
4. **AM アンテナ端子**: 付属の AM ループアンテナをここに接続します。後述の接続例をご参照下さい。
5. **DAB+ アンテナ端子**: 付属の DAB+アンテナを接続します。
6. **音声出力端子 (RCA アンバランス)**: これらの端子からラジオ音声を出力します。RCA ケーブルを使用して、外部のスピーカーやサウンドシステムなどに接続します。後述の接続例をご参照下さい。

7. **音声出力端子(XLR バランス):** これらの端子からラジオ音声を出力します。XLR ケーブルを使用して、外部スピーカーやサウンドシステムなどに接続します。後述の接続例をご参照下さい。
8. **Firmware Update 端子:** 本体のファームウェアを更新するために使用する USB 端子です。ファームウェアを更新する際に、隣のスイッチを UPDATE に切り替えます。通常の操作を行う場合は、スイッチを NORMAL にセットしておきます。

接続例

はじめに>同梱品リストに記載のないものは、別売品です。



セットアップ

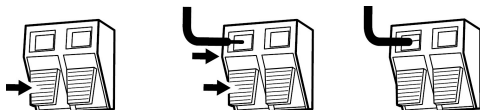
重要: ケーブルはしっかりと正しく(ステレオ・ケーブルは左右のチャンネルを間違わずに)接続し、電源ケーブルとステレオケーブルは一つに纏めない様お願い致します。

1. ステレオ RCA ケーブルまたは、XLRケーブルで本体の音声出力端子と外部レシーバーやアンプ等アナログ入力機器を接続します。ご使用の地域に合わせてチューナーリージョン(アメリカ/ヨーロッパ/日本)を設定する必要があります。

注:本体の電源がオンの場合、このスイッチの設定を変更した後、設定を反映させるには、一度電源をオフにして、もう一度オンする必要があります。

2. 付属の FM アンテナを FM アンテナ端子に接続します。

3. 付属の AM ループアンテナを AM アンテナ端子に接続します。AM ループアンテナのリード線が、パネルの金属部分に接触していないことを確認して下さい。

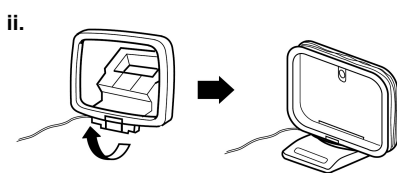
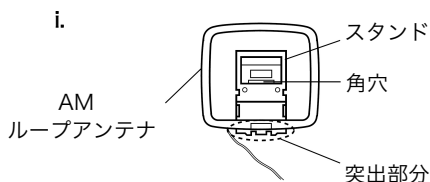


AM アンテナのループを壁に掛ける場合は、釘や画鋲で(アンテナを組み立てずに)壁に固定してください。AM アンテナのループを平らな物の上に置く場合は、アンテナを組みたててください。(下図参照)：

- i. スタンド部分をループアンテナの底に後ろから通し、前側に曲げます。
 - ii. 突出部分をスタンドの角穴に差し込みます
4. 付属の DAB アンテナを DAB+アンテナ端子に接続します。アンテナを接続する際には、アンテナと端子がしっかりと固定されるまで時計回りに回して接続してください。
 5. 全ての接続が終わりましたら、付属の電源ケーブルを接続して電源を入れます。



DAB+ アンテナ



操作

リモートコントローラー

1. **Mute ボタン:** このボタンを押して音声入力をミュートします。もう一度ボタンを押すと、ミュートが解除されます。詳しくは、**操作>ラジオを聴く**をご参照下さい。

2. **ST/MO ボタン:** FM モードのみで、このボタンを押すとステレオ、モノラルの切替が出来ます。

Stereo: FMステレオ放送はステレオで受信され、ディスプレイにSTと表示される。

Mono: FM局の受信状態が良くない場合にこのボタンを押す事で、不要なノイズを減衰させてモノラルで受信できる場合がある。

3. **Menu/Enterボタン:** このボタンを押してメニューへアクセス、選択メニューを決定します。

長押しすると、メニューへ戻る事が出来ます。

4. **TUNING ▲/▼ボタン:**オートチューニングモードの場合、これらのボタンを押すと。クリアに受信可能な次の曲を探してジャンプします。マニュアルチューニングモードの場合は、局を探すことができます。

5. **DAB Auto ボタン:** DAB モード時に最もシグナルの強い DAB/DAB+放送局を探してジャンプします。

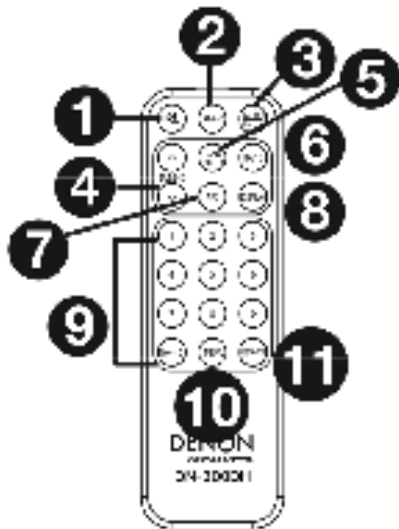
6. **Band ボタン:** 自動的に受信可能なラジオ局を探して、プリセットに保存します。まず、RDS を使って局を自動検索し、そのがほかのラジオ局を検索します。

7. **APS ボタン:** このボタンを押して、自動的に受信可能なラジオ局を探してプリセットに保存します。まず、RDS を使って局を検索し、その後、他のラジオ局を検索します。

注: この機能は、既にプリセットとして保存されている局を上書き保存します。

8. **Display ボタン:** FM または、DAB+ 受信中にこのボタンを押すと、RDS データを受信して様々な情報をディスプレイに表示します。ボタンを一度押すと「PS (Program Service)」、もう一度押すと「PTY (ProgramType)」、更にもう一度押すと「CT (Current Time)」、最後に「RT (Radio Text)」と順番に表示します。電波が弱いなど、RDS データを正しく受信できていない場合は、「NO PS」「NO PTY」「NO CT」「NO RT」などと表示されます。

- **PS (Station Name):** ディスプレイに「PS」と表示されるまで、DISPLAY ボタンを押します。現在のラジオ局の名前が表示されます。
- **PTY (Program Type):** ディスプレイに「PTY」と表示されるまで、DISPLAY ボタンを押します。プログラム・タイプが表示されます。



- **CT (Current Time):** ディスプレイに「CT」と表示されるまで、DISPLAY ボタンを押します。現在の時刻が表示されます。(例: 15:30) 「WAIT CT」と表示される場合は、ラジオ局から現在時刻を取得中です。

注: 局が発信している時刻信号ですので、局によって時刻にずれがある場合もあります。

- **受信強度メーター:** ディスプレイに受信強度バーが表示されるまで、DISPLAY ボタンを押します。受信強度が表示されます。
 - ディスプレイに「RT」と表示されるまで、DISPLAY ボタンを押します。局が発信するさまざまなテキスト情報を表示します。
9. **ナンバーボタン (1-10/10+):** リモートコントロールのこれらのボタンを押す事で、プリセットとしてとして保存してある曲を呼び出すことができます。10 より大きなプリセット番号は、例えば、プリセット 12 を呼び出したい場合は、10/10+ボタンを押してから、続けて 2 を押す事で呼び出し可能です。プリセット 20 の場合には 10/10+ボタンを 2 度押します。
10. **Memory ボタン:** 現在選択されている局をプリセットとして保存するには、このボタンを押してからナンバーボタン (1~10/10+) で保存したいプリセット番号を押しもう一度この MEMORY ボタンを押します。詳しくは、操作>ラジオを聴くをご参照下さい。
11. **Region ボタン:** このボタンを押して、ご使用の地域に合わせて Tuning Up/Down ボタンでチューナーリージョン(アメリカ/ヨーロッパ/日本)を選択し、もう一度 REGION ボタンを押して決定します。自動的に本体の電源がオフになりますので、ミュートボタンを押すか本体の電源ボタンを 2 度押しして電源をオンにすることで、選択したリージョンが反映されます。

注: リージョンを変更すると、保存してあるプリセットは上書き（消去）されます。

バッテリーの使い方

重要: リモートコントローラーを最初に使用するときには、バッテリー・ケースから絶縁シートを引き抜いて使用してください。

バッテリーの交換

1. リモートコントローラーの裏面にある小さな穴にピンを差し込み、バッテリーカバーをスライドして開きます。
2. バッテリー・ケースから使用済みのリチウムバッテリーを取り出し、(+)極が図の様に見える向きにして新しいバッテリーを装着します。
3. バッテリーカバーの淵をバッテリー・ケースの溝に合わせてスライドさせ元の位置に戻します。

重要: リチウムバッテリーは使用方法を誤ると、発熱や発火、破裂の可能性が有ります。使用、交換をする際には、以下の点に注意してください。:

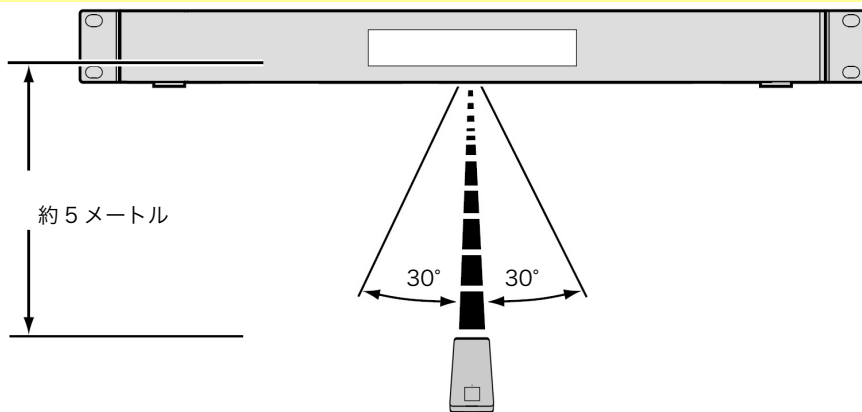
- 同梱のバッテリーは、リモートコントローラーの機能確認用です。
- リチウムバッテリーは 3V CR2032 タイプをご使用下さい
- バッテリーは絶対に充電、分解せず、乱暴に扱わないでください。
- バッテリーを交換する際には、極性の向きを正しい向きに設置してください。
- 高温になる場所や直射日光下にバッテリーを放置しないでください。
- バッテリーは乳幼児の手の届かない場所に保管をしてください。

- 万が一バッテリーを飲み込んでしまった場合には、速やかに医師にご相談下さい。
- 電解液が漏れた場合には、速やかにバッテリーを取り外してください。
- 電解液が皮膚や衣服に付着した場合は、速やかに水道水で洗い流し、医師にご相談下さい。
- バッテリーを廃棄する際には、テープで端子を絶縁してから、廃棄する地域の規則に従って、火の気のない場所へ捨ててください。

動作範囲

リモートコントローラーは、機器のセンサーに向けた状態で操作してください。

注: リモートコントローラーのセンサーに直射日光や強力な照明（インバーター式の蛍光灯など）や赤外灯の光が当たっていると、リモートコントローラーが正常に動作しない場合があります。



ラジオを聴く

ラジオの使用方法：

1. 本体の電源がオフの場合は、POWER ボタンを押して電源をオンにします。
2. BAND ボタンを押して、DAB か FM か AM を選択します。ラジオ局の放送音声自動的に再生されます。

重要: DAB か FM および AM アンテナが正しく接続され、チューナーリージョンが正しく設定されていることを確認してください。

3. ラジオ局は、本体またはリモートコントローラーの Tuning ボタンで選択します。ボタンを 1 秒以上長押しすると、クリアに受信可能な次の曲を探してジャンプします。

プリセットナンバーへのラジオ局の保存：

1. 好みのラジオ局を選択します。
2. 本体またはリモートコントローラーの MEMORY ボタンを押します。
3. 本体またはリモートコントローラーのナンバーボタン(1～10/10+)を押して好みのプリセットナンバーを入力します。
4. もう一度 MEMORY ボタンを押してプリセットに保存します。

保存したプリセットを呼び出すには：ナンバーボタンを押して、プリセットとして保存してある曲を呼び出します。

10 より大きなプリセット番号は、例えば、プリセット 12 を呼び出したい場合は、10/10+ ボタンを押してから、続けて 2 を押すことで呼び出し可能です。プリセット 20 の場合は、10/10+ ボタンを二度押します。

重要: プリセット・メモリーには FM 局/AM 局をそれぞれ最大 20 局ずつ保存できます。ラジオの受信状態がよくない場合は、屋外アンテナの設置をお勧めします。詳細については、本体を購入した販売店にお問い合わせください。クリアに受信できるように、アンテナの位置や角度を動かして、ノイズ量が最小になる向きに固定してください。

DAB/DAB+の使用方法

DAB 及び DAB+(中東、アジア、オセアニア地域に使用することが出来ます。詳細については、付録>技術仕様をご確認ください。) はデジタル信号を使用した放送で数多くのチャンネルをお楽しみ頂けます。DAB 及び DAB+は、不安定な電波状況やあらゆるノイズの無い鑑賞体験を提供します DAB+は DAB と同じ送信方式を採用しておりますが、より効果的に音声を変換しており、選択できる局数も増えております。DAB 及び、DAB+では周波数を記憶する必要は無く、そのかわりに局名を覚ええます。

DAB 及び DAB+の信号には DN-300DH のディスプレイで確認できる追加情報があります。視聴中、追加情報としてディスプレイ上にアーティスト名・曲名・ジャンル・次に流れる曲・ニュース・スポーツのスコア・ウェブサイトのアドレス・リクエスト用の電話番号等の様々な情報がスクロールテキストで表示されます。

DAB/DAB+の放送局選択方法：

1. 本体の電源がオフの場合は、POWER ボタンを押して電源をオンにします。
2. Band ボタンを押して DAB を選択します。

重要: DAB アンテナがアンテナ端子にしっかりと接続されていることをご確認ください。

3. DAB Auto ボタンを押して DAB/DAB+の放送局をサーチします。
DAB/DAB+の放送局は本体若しくはリモートコントローラの TUNING ▲/▼ボタンを使用して選んで下さい。

ラジオ局のプリセット・ナンバーへの保存方法：

1. 好みの DAB/DAB+放送局を選びます。
2. 本体若しくはリモートコントローラの Memory ボタンを押します。
3. 本体またはリモートコントローラのナンバーボタン(1～10/10+)を押して、好みのプリセットナンバーを入力します。
4. もう一度 Memory ボタンを押してプリセットに保存します。

DN-300DH は DAB 放送局を最大 40 チャンネル記憶出来ます。

保存した DAB/DAB+放送局のプリセットを呼び出すには：ナンバーボタンを押して、プリセットとして保存してある局を呼び出します。10 より大きなプリセット番号は、例えば、プリセット 12 を呼び出したい場合は、10/10+ ボタンを押してから、続けて 2 を押すことで呼び出し可能です。プリセット 20 の場合は、10/10+ ボタンを二度押します。

重要:

受信状況を最善に保つため、アンテナができるだけ縦に伸びていることを確認して下さい。

DN-300DH をなるべく窓に近い位置に設置し、DAB/DAB+放送信号の妨げになるものが周りに無い環境を整えて下さい。

家屋よりも高い位置に設置に本体を設置すると十分な DAB/DAB+信号を受信できます。

トラブルシューティング

万が一 DAB/DAB+の信号を十分に受信できない場合：DN-300DH の電源をオンにした後に DAB Auto ボタンを押してください。お住まいのエリアにて視聴可能な局を自動的にサーチします。一度オートで局をサーチした後は、別の地域に移動しない限りこの作業はする必要はありません。

もし DAB/DAB+で受信した音声がステレオではなかった場合：スピーチや会話等の音声メインの放送局は一般的にはモノラルで放送されております。

DAB/DAB+放送の音質が低い、またはデジタルノイズなどが音声に入っていた場合：アンテナの位置を変更して、受信環境を改善して下さい。それでも改善しない場合には、放送局の放送ビットレートが低い可能性が有ります。高いビットレートで放送している放送局で音質を確認して下さい。

付録

技術仕様

ラジオ周波数範囲	アメリカ: FM: 87.5 ~ 108 MHz FM ステップ周波数: 50 kHz FM S/N 比: 30 dB、< 3 dBu AM: 520 ~ 1710 kHz AM ステップ周波数: 10 kHz DAB/DAB+: 174.928 MHz ~ 239.200 MHz (Band III) ヨーロッパ: FM: 87.5 ~ 108 MHz FM ステップ周波数: 50 kHz FM S/N 比: 30 dB、< 3 dBu AM: 522 ~ 1629 kHz AM ステップ周波数: 9 kHz DAB/DAB+: 174.928 MHz ~ 239.200 MHz (Band III) 日本: FM: 76 ~ 108 MHz FM ステップ周波数: 50 kHz FM S/N 比: 30 dB、< 3 dBu AM: 522 ~ 1629 kHz AM ステップ周波数: 9 kHz オーディオ特性: <u>FM:</u> 感度: < 3 dBu SN: モノラル: > 70 dB ステレオ: > 65 dB 歪率: モノラル: < 0.3% ステレオ: < 0.3% ステレオ分離: 1 kHz、> 35 dB 周波数特性: 20 Hz ~ 14 kHz 出力ボルテージ: 500 mV / 2.2 kΩ アンテナ入力カインピーダンス: 75 Ω <u>AM:</u> SN: > 40 dB 歪率: < 1.8% アンテナ: ループアンテナ <u>DAB/DAB+:</u> 感度: 100 dBm SN: > 70 dB 周波数特性: 20 Hz ~ 20 kHz、+/- 3 dB ステレオ分離: 1 kHz、> 60 dB アンテナ入力カインピーダンス: 75 Ω			
DAB/DAB+ 対応国	オーストラリア	ベルギー	チェコ	デンマーク
	フランス	ドイツ	ジブラルタル	バチカン市国
	香港	アイルランド	イタリア	クウェート
	マルタ	モナコ	オランダ	ノルウェー
	ポーランド	スロベニア	韓国	スペイン
	スウェーデン	スイス	イギリス	

端子	XLR ステレオ出力端子×1 RCA ステレオ出力端子×1 USB 端子 (ファームウェア更新用)×1 IEC 電源ケーブル端子×1
電源	端子: IEC 入力ボルテージ: 115 V / 230 V, 50/60 Hz 動作温度: 41° ~ 95° F / 5° ~ 35° C 動作湿度: 25 ~ 85%、(結露のないこと) 保管温度: 4° ~ 140° F / -20° ~ 60° C
サイズ (width x depth x height)	19.0" x 1.7" x 7.9" 482 x 43 x 200 mm
重量	5.5 lbs / 2.5 kg

仕様は予告なく変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

商標およびライセンス

Denon は、D&M Holdings Inc.,の商標で、米国及びその他の国々で登録されています。
Denon Professional 製品は、inMusic Brands, Inc.,によって製造されています。
その他、すべての製品名や会社名、商標またはトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japan は、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japan でのみ行われるものとします。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマーサポート へご相談ください。

保証書	
製品名：	
製品番号：	
ご購入日：	
保証期間： ご購入日から一年間	
お客様	販売店
お名前：	販売店名：
ご住所：	ご住所：
お電話：	お電話：

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F
お問い合わせ： denonpro.jp/support/

- 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。